

短期大学 保育科							
氏名	上出香波	職名	准教授	専攻分野	教育学	学位名	修士（教育学）
主要業績（著書・研究論文併せて5点以内）							
<p>【著書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『シリーズ・保育の基礎を学ぶ 実践に活かす子ども家庭福祉』ミネルヴァ書房、2021年1月（共著） <p>【論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小児病棟における保育士の専門性に関する検討－医療保育専門士への面接調査を通して－」『保育学研究』第52号、第1号、日本保育学会、2014年1月（単著） ・「子どもの生活の質と親の社会関係資本に関する横断研究」『小児保健研究』第75巻、第2号、日本小児保健協会、2016年1月（共著） ・「生活の質（QOL）が低い子どもの特性－健やかな成長発達を支援するために－」『児童学研究』第42号、日本家政学会児童学部会、2018年1月（単著） ・「病棟保育士が考えるチーム医療の一員としての認識について」『医療と保育』第17号、日本医療保育学会、2019年3月（共著） 							
最近6年間の業績（2018年度～2022年度）							
<p>【著書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『幼児と健康－日常生活・運動発達・こころとからだの基礎知識－』ジエース教育新社、2020年4月（共著） ・『これ一冊で安心 実習ガイドブック：保育所実習・施設実習・幼稚園実習・介護等体験に役立つ』新読書社、2020年10月（共著） ・『シリーズ・保育の基礎を学ぶ 実践に活かす子ども家庭福祉』ミネルヴァ書房、2021年1月（共著） ・『改訂 医療保育セミナー』健帛社、2021年7月（共著） <p>【論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「幼児の運動能力における40年間の推移－同一幼稚園の体力測定の結果から－」『共立女子大学家政学部研究紀要』第65号、2019年1月（単著） ・「病棟保育士が考えるチーム医療の一員としての認識について」『医療と保育』第17号、日本医療保育学会、2019年3月（共著） ・「小児病棟における病棟保育の現状－全国の病棟保育士に対する2年間のアンケート調査－」『医療と保育』第20号、第1号、日本医療保育学会、2022年3月（共著） ・“Relationship between static balance and gait parameters in preschool children” 『Gait & Posture』96、2022年5月（共著） 							

【学会発表】

- ・「病棟保育の現状について—全国アンケート調査の結果より—」第 71 回日本保育学会、2018 年 5 月（共）
- ・「病棟保育士が考えるチーム医療の一員としての認識について」第 64 回日本医療保育学会、2018 年 6 月（共）
- ・「2 歳から 6 歳の幼児における歩行の時間・空間的変数とバランス機能」第 41 回臨床歩行分析研究会定例会、2019 年 9 月（共）
- ・「小児病棟の保育士が抱える保育の課題について—全国の小児病棟の保育士に対する調査結果より—」第 8 回日本小児診療多職種研究会、2020 年 2 月（共）
- ・「病棟の保育士が考える子どもと家族の QOL に関する意識調査—小児看護との比較から—」第 73 回日本保育学会、2020 年 5 月（共）
- ・“Kinematic analysis of static balance and temporal and spatial characteristics of gait in 2- to 3-year-old preterm and full-term infants Response: Thank you for considering our suggestion” 74th AACPD Annual Meetings、2020 年 9 月（共）
- ・「幼児における歩行能力の発達に対する体格の影響：1 年間の縦断研究による検証」第 67 回日本小児保健学会、2020 年 11 月（共）
- ・「集団療育における子どもどうしの関わりについての実践的研究—関わりが展開する場面の環境要因を探る—」第 74 回日本保育学会、2021 年 5 月（共）
- ・“Standing Balance Is Superior to Gait Parameters for Motor Impairment Risk Assessment in Preterm and Very-low-birth-weight Toddlers” 75th AACPD Annual Meetings、2021 年 10 月（共）
- ・「2～6 歳の定型発達児における歩行の円滑性および規則性の変化：加速度波形解析による検討」第 19 回神経学療法学会、2021 年 12 月（共）
- ・「発達に遅れのある幼児における歩行特性の検討—傾向スコアマッチングによる定型発達児との比較—」第 69 回日本小児保健学会、2022 年 6 月（共）

【その他、社会活動】

- ・（科研費）基盤研究 C「医療保育の質を評価するシステムの構築—入院児とその家族の QOL 向上に向けて」研究代表者、2017 年 4 月～2023 年 3 月
- ・（報告書）「病棟保育の自己評価に関するアンケート結果 報告書および自己評価表」科学研究費助成事業（課題番号 17K0495）2023 年 2 月（共）
- ・（講演）「子どもの生活の質（QOL）を低下させる要因は何か—ある地域の実態調査からみえること」日本臨床発達心理士会 神奈川支部 資格更新研修会 2018 年 12 月
- ・「医療保育における保育実践研究Ⅱ」日本医療保育学会認定医療保育専門士資格取得研修会 講師 2016 年 9 月～2022 年 9 月
- ・日本医療保育学会 代議員 2018 年～現在